

2021年度第1四半期決算説明会 Appendix

2021年5月13日
楽天グループ株式会社



連結業績

Q1/21 売上収益と営業利益*1

(単位：十億円)

	Q1/20	Q1/21	YoY
コア事業 *2			
売上収益	257.4	285.3	+10.8%
営業利益	32.5	42.1	+29.4%
市場変動型等／投資事業 *3			
売上収益	31.8	35.5	+11.6%
営業利益	1.0	37.7	+367億円
将来の成長に向けた先行投資型事業 *4			
売上収益	80.7	111.4	+38.1%
営業利益	-49.9	-111.3	-613億円
調整額			
売上収益	-38.5	-40.8	-23億円
営業利益	-1.7	-0.1	+16億円
連結			
売上収益	331.4	391.5	+18.1%
Non-GAAP 営業利益	-18.1	-31.6	-134億円
IFRS 営業利益	-24.1	-37.3	-133億円

*1 Q1/20より、楽天損保の売上収益計上方法変更等に伴い、一部数値を遡及修正

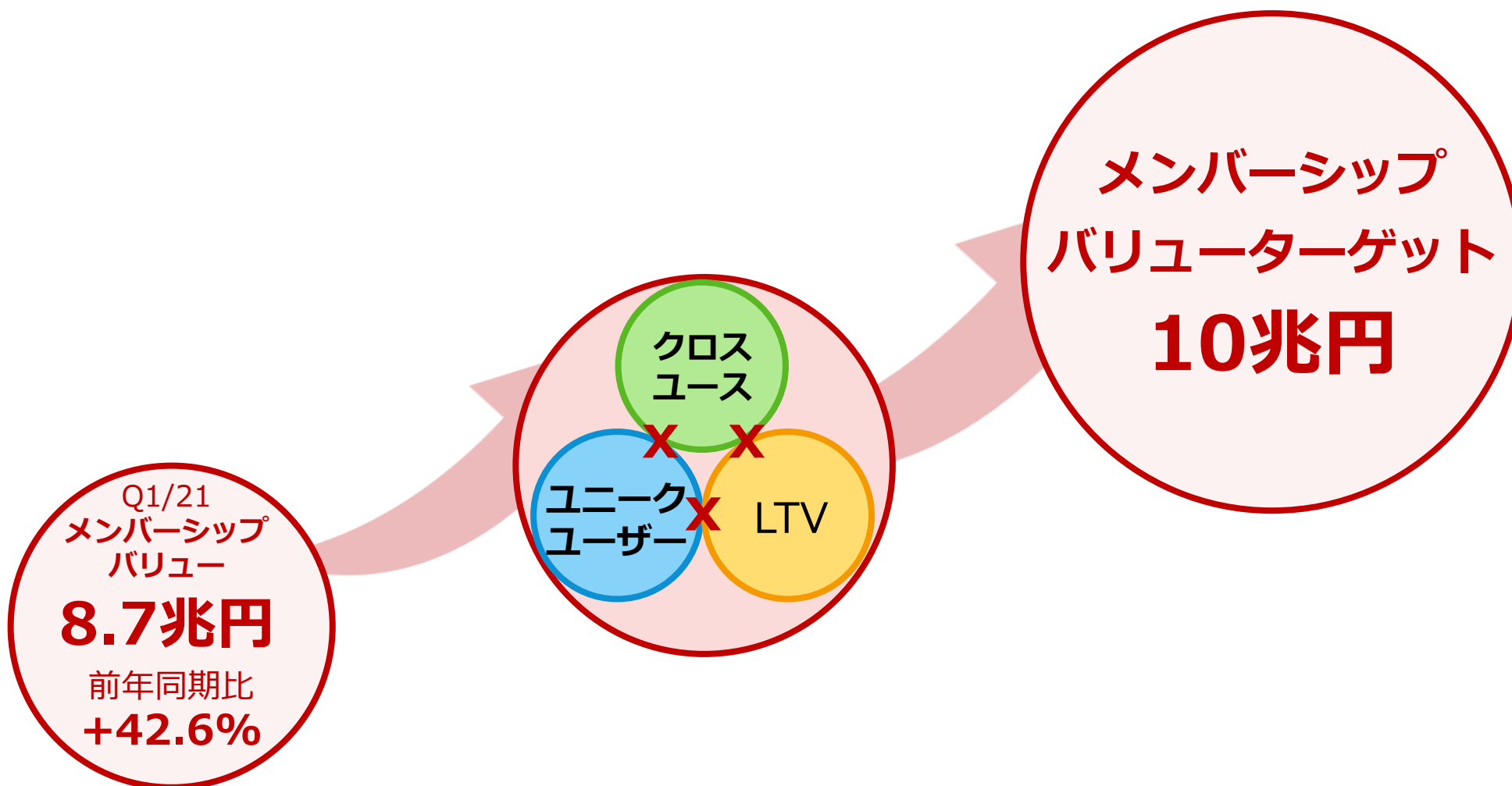
*2 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

*3 楽天証券、楽天損保、投資事業を含む

*4 物流関連投資、楽天モバイル、ペイメント事業、NBA放映権、Rakuten Rewards (Ebates) リブランディング費用等を含む

楽天エコシステムの超拡大

- メンバーシップバリューは目標の10兆円に向け順調に拡大

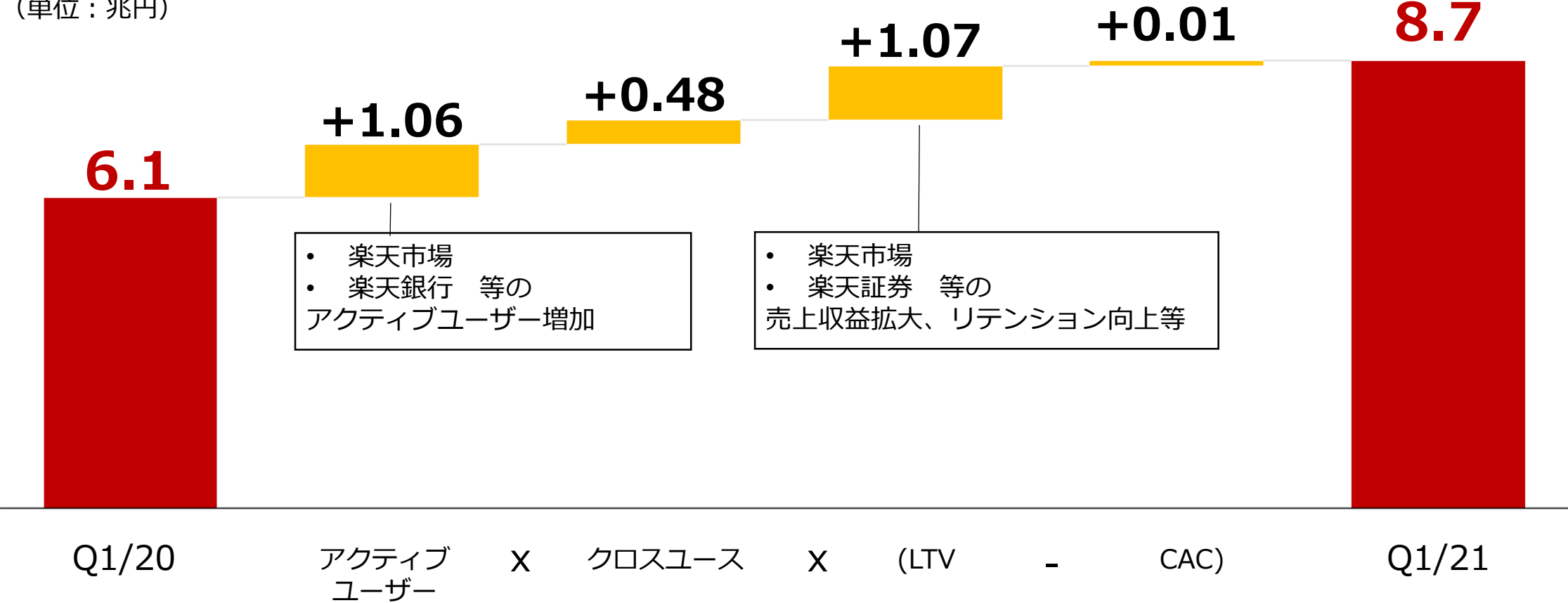


* モバイル事業は上記計算に含めない

楽天エコシステムのメンバーシップバリュー

■ メンバーシップバリューは楽天市場、楽天証券のユーザー拡大と利用頻度増による粗利向上により、前年同期比+42.6%と大幅に拡大

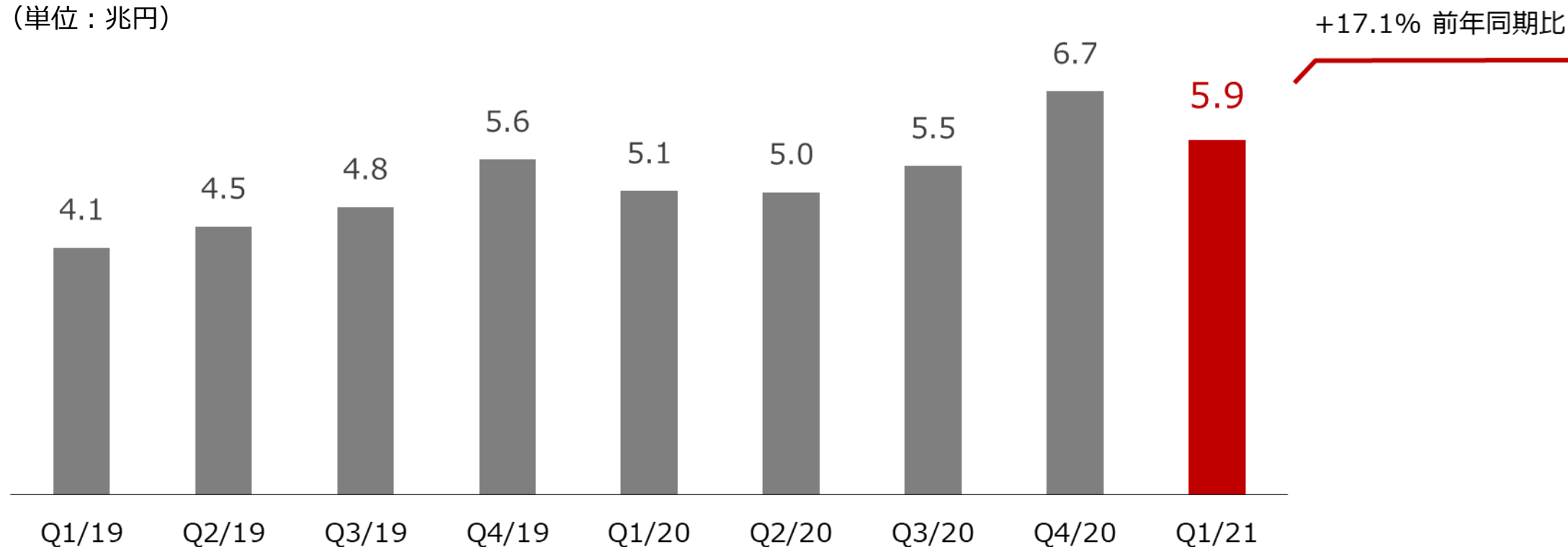
(単位：兆円)



* MVNO事業の新規受付終了に伴い、一部メンバーシップバリューを除外
* ドイツのマーケットプレイスビジネスのクローズに伴い、一部メンバーシップバリューを除外

グローバル流通総額^{*1*2}

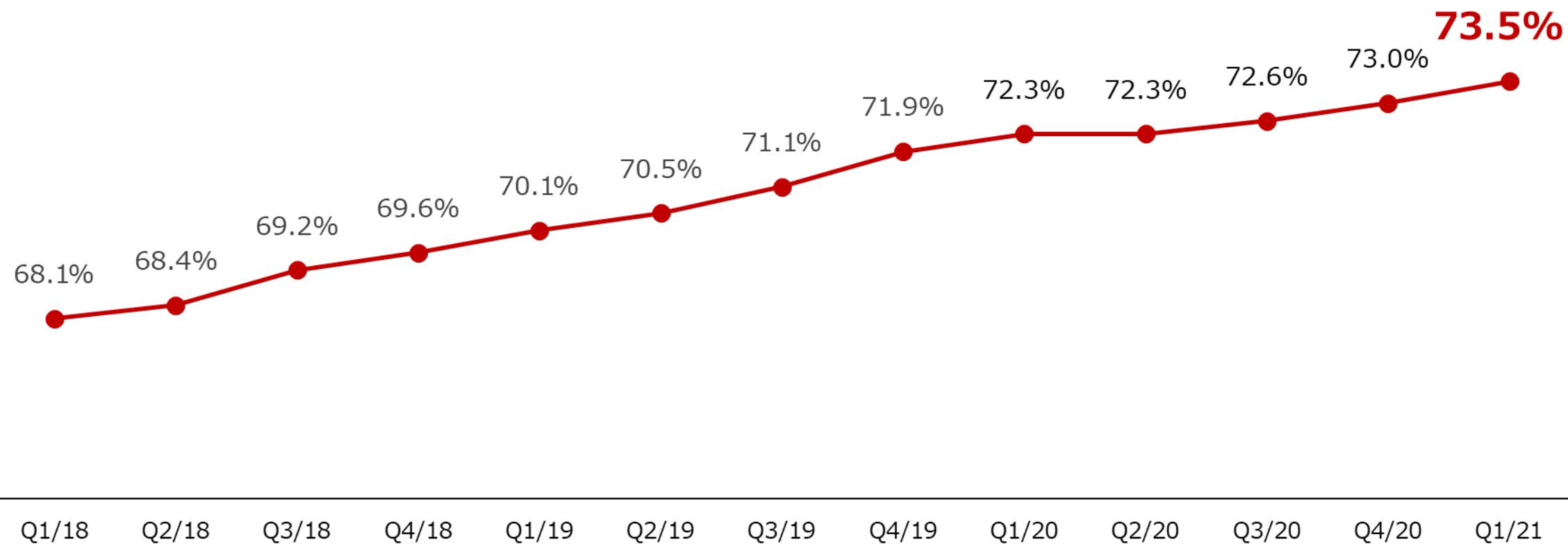
(単位：兆円)



^{*1} グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + 楽天Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + Rakuten Advertising (Rakuten Marketing) 取扱高

^{*2} 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む

クロスユース率*の拡大



* 過去12か月間における2サービス以上利用者数／過去12か月間における全サービス利用者数（2020年12月末時点）
（楽天ポイントが獲得可能なサービスの利用に限る）

Q1/21 連結業績サマリー

(単位：十億円)

	Q1/20	Q1/21	YoY
売上収益	331.4	391.5	+18.1%
Non-GAAP 営業利益	-18.1	-31.6	-134億円
Non-GAAP 営業利益 (モバイル、物流、投資事業の損益除く)	29.0	41.9	+44.4%
IFRS 営業利益	-24.1	-37.3	-133億円

Q1/21 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

	Q1/20	Q1/21	前年同期比
国内EC			
売上収益	124.2	158.3	+27.4%
営業利益	10.6	12.6	+19.8%
その他			
売上収益	56.2	53.9	-4.2%
営業利益	-10.2	28.6	+388億円
インターネットサービスセグメント			
売上収益	180.4	212.1	+17.6%
営業利益	0.3	41.2	+409億円
フィンテックセグメント			
売上収益	140.0	151.6	+8.2%
営業利益	19.8	24.5	+23.8%
モバイルセグメント			
売上収益	49.5	68.6	+38.6%
営業利益	-36.6	-97.2	-607億円
調整額			
売上収益	-38.5	-40.8	-23億円
営業利益	-1.7	-0.1	+16億円
連結			
売上収益	331.4	391.5	+18.1%
Non-GAAP 営業利益	-18.1	-31.6	-134億円
IFRS 営業利益	-24.1	-37.3	-133億円

*1 Q2/20に、OverDrive Holdings, Inc.の全株式を譲渡したことに伴い、Q3/20より同社の損益を除外

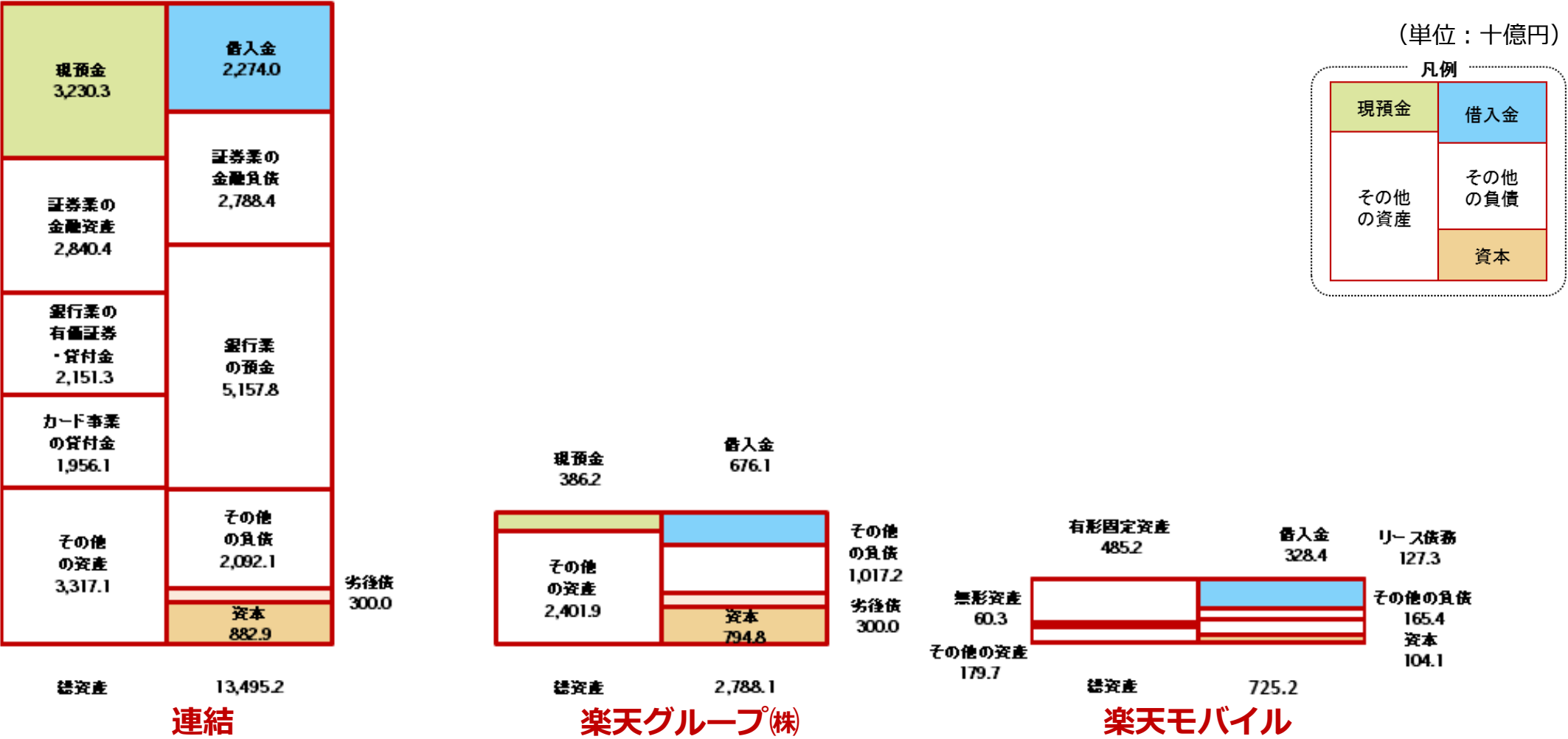
*2 Q4/20に、コンテンツ関連事業をインターネットサービスセグメントからモバイルセグメントに移管

Q1/21 Non-GAAP営業利益調整額

(単位：十億円)

	Q1/20	Q1/21	前年同期比
Non-GAAP営業利益	-18.1	-31.6	-134億円
無形資産償却費 (PPA)	-2.6	-2.6	+0億円
株式報酬費用	-3.3	-3.2	+1億円
非経常的な項目	0.0	0.0	+0億円
IFRS営業利益	-24.1	-37.3	-133億円

連結・主要子会社のバランスシート概要①(2021年3月末) *単体BSは内部取引を含む



* 楽天グループ(株)、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保、楽天モバイルはIFRSに準拠した単独決算の数値

* 借入金 = 社債 + CP + 銀行借入金

* 単体BSは内部取引を含む

連結・主要子会社のバランスシート概要②(2021年3月末) *単体BSは内部取引を含む

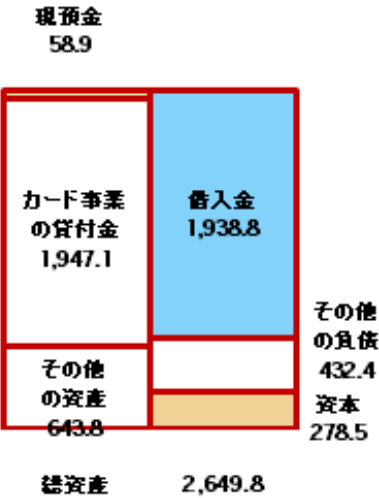
(単位：十億円)

凡例

現金預金	借入金
その他の資産	その他の負債
	資本



楽天銀行



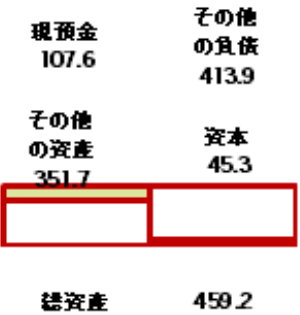
楽天カード



楽天証券



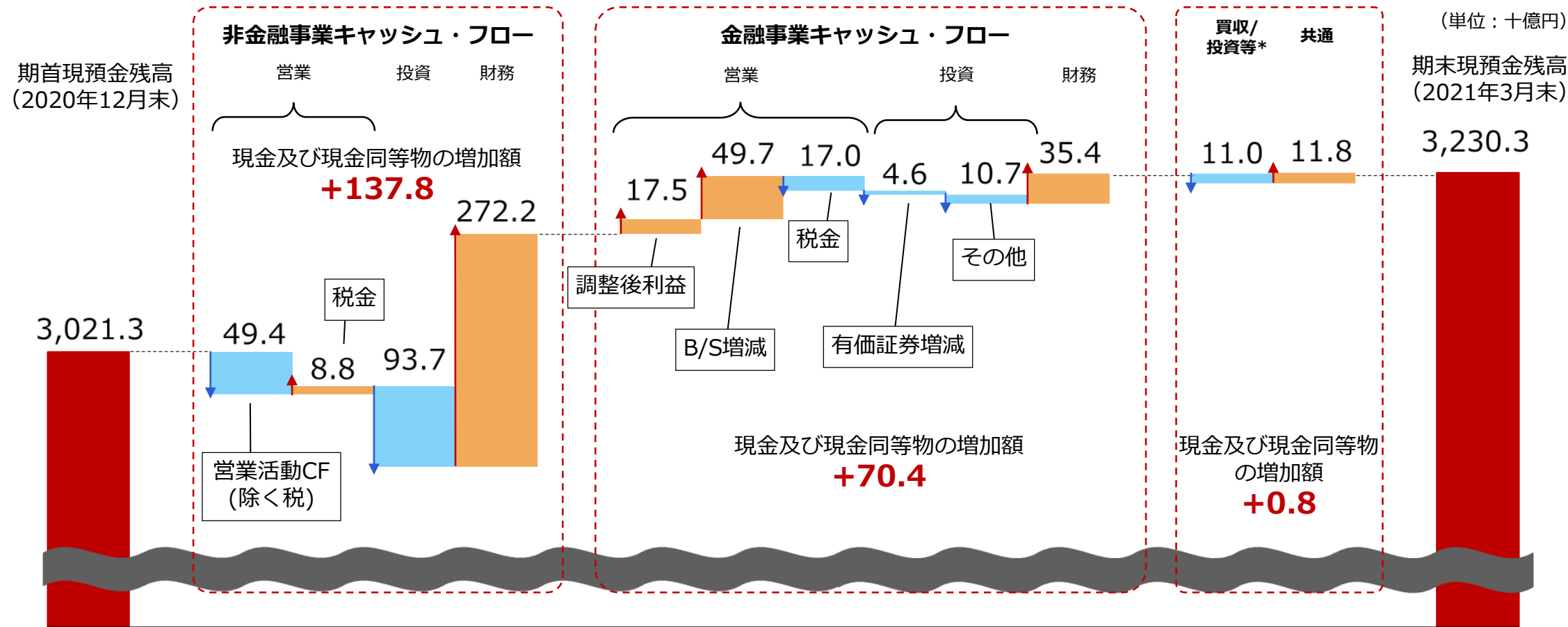
楽天生命



楽天損保

* 楽天グループ(株)、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保、楽天モバイルはIFRSに準拠した単独決算の数値
* 借入金 = 社債 + CP + 銀行借入金
* 単体BSは内部取引を含む

キャッシュ・フローの状況 (2021年1月 - 3月)

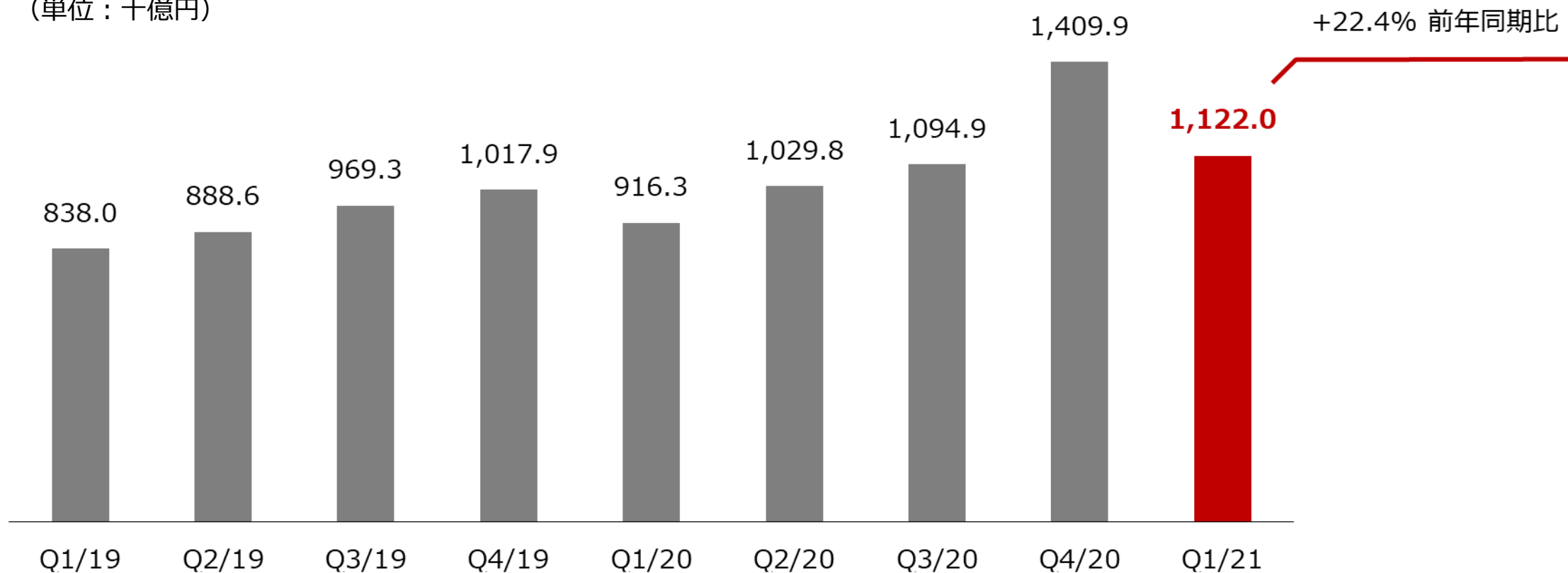


* 買収/投資等には、「子会社の取得による支出」及び「持分法投資の取得による支出」の他、非金融における「有価証券の取得による支出」及び「有価証券の売却及び償還による収入」が含まれます。

インターネットサービスセグメント

国内EC 流通総額*

(単位：十億円)

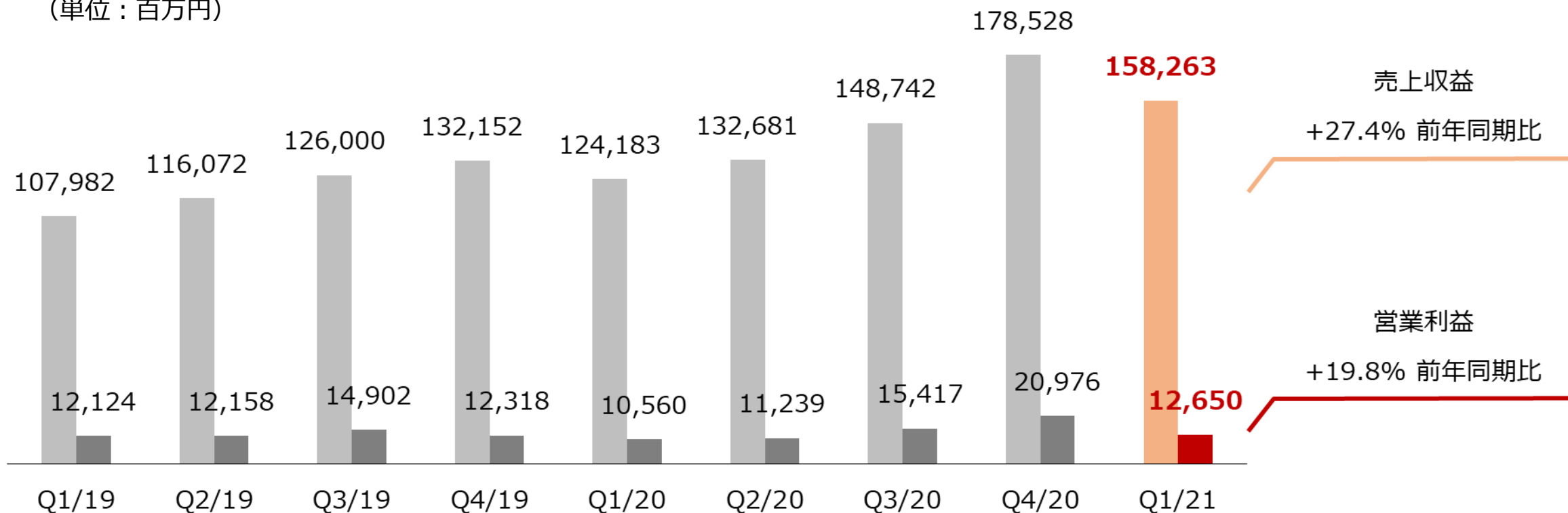


* 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24（ダイレクト）、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー等の流通額の合計

国内EC 四半期業績推移*

- 楽天市場を中心としたEC事業が牽引し、売上高は前年同期比+27.4%と力強く成長。それに伴い営業利益は物流投資があったものの、前年同期比+19.8%と大きく拡大

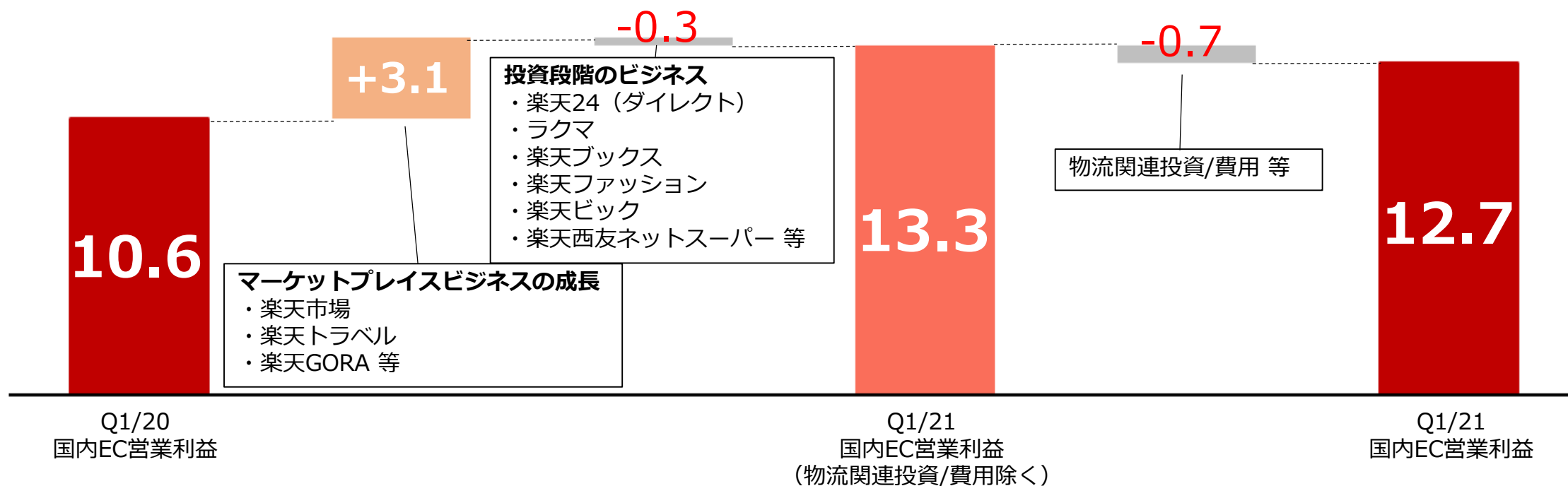
(単位：百万円)



* 国内EC＝市場、トラベル、ブックス、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24(ダイレクト)、物流、オートビジネス、ラクマ、Rebates等

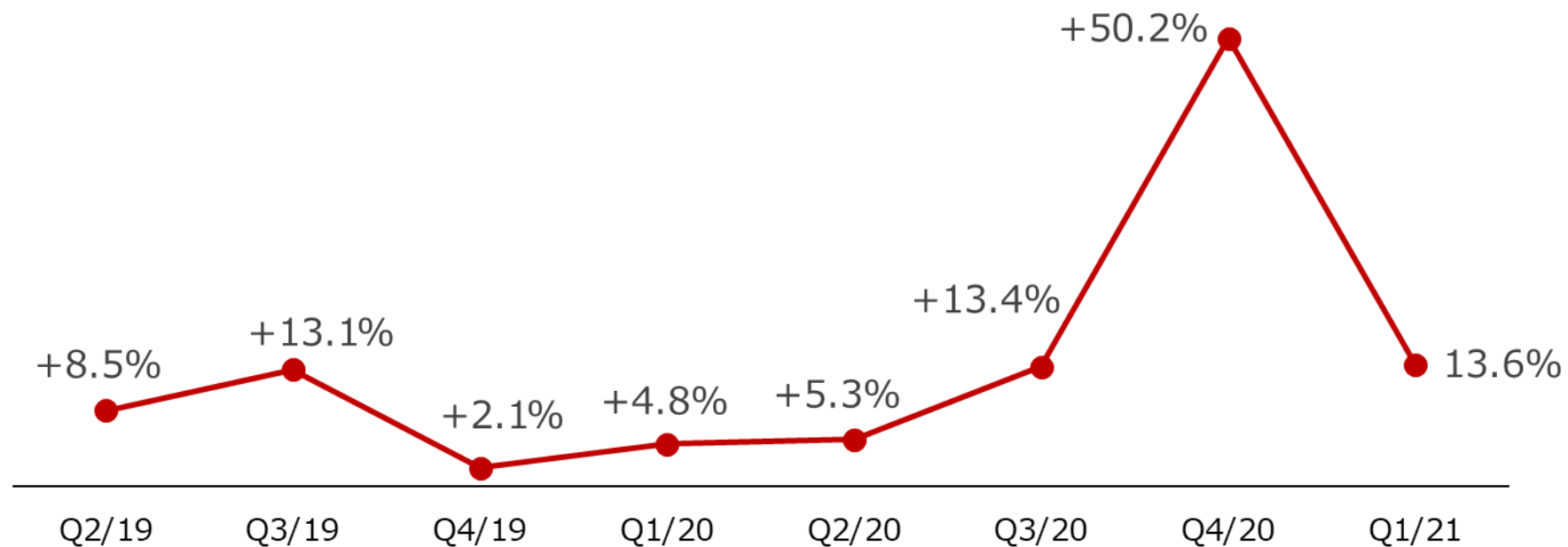
Q1/21 国内EC営業利益詳細

(単位：十億円)



国内EC マーケットプレイスビジネス* 営業利益 前年比推移

(前年同期比)



* マーケットプレイスビジネス=市場、トラベル、ゴルフ、ドリームビジネス等

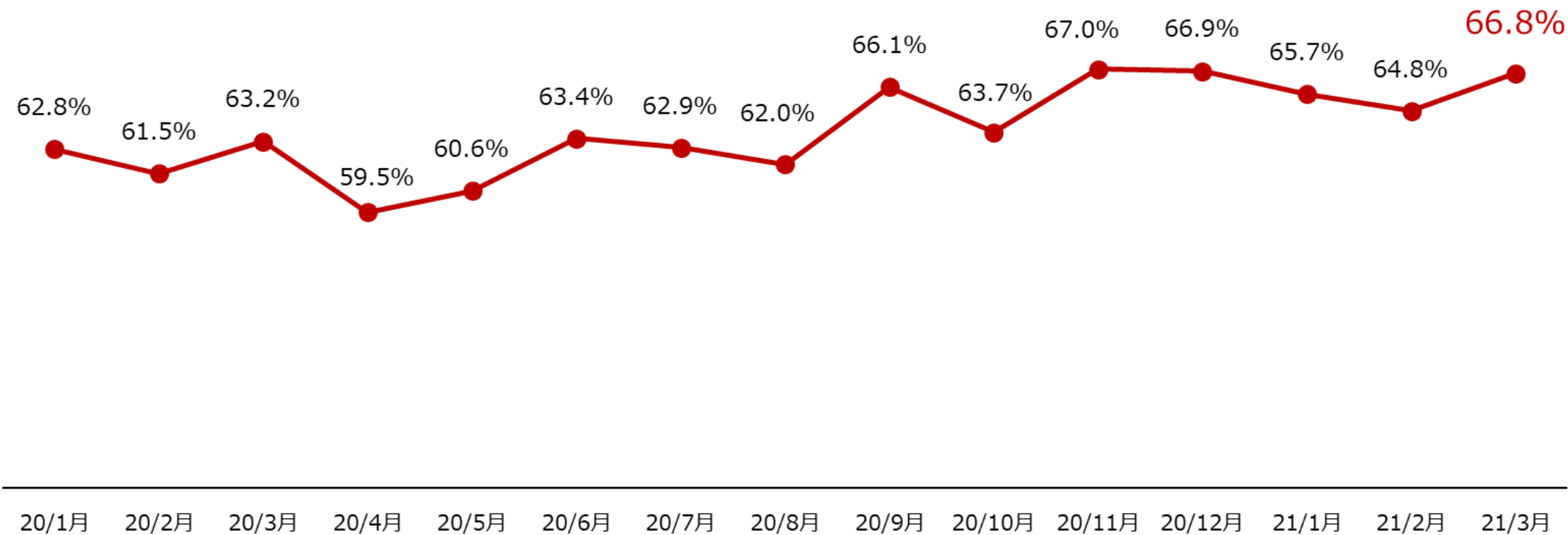
Q1/21 楽天市場モバイル流通総額比率*

78.3%

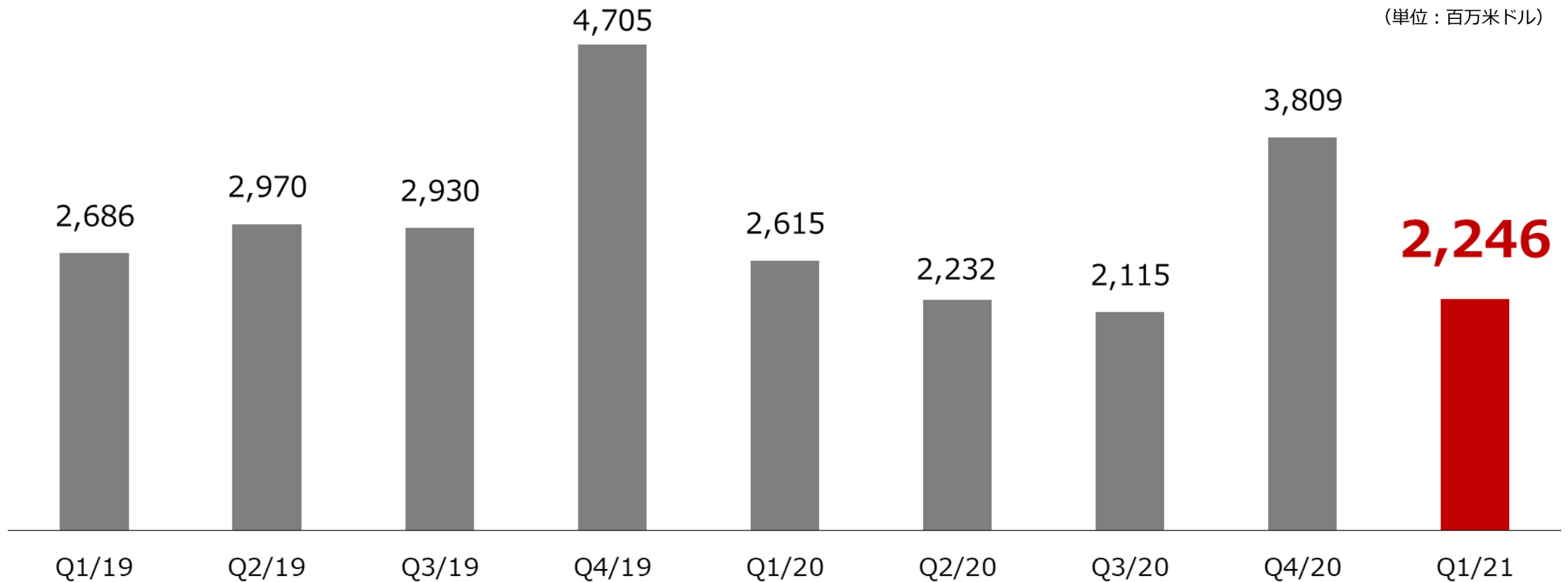
+2.8ポイント 前年同期比

*モバイル流通総額比率 = 楽天市場モバイル流通総額 / 楽天市場流通総額合計 (スマートフォン、タブレットを含む)

楽天市場流通総額における楽天カード決済比率

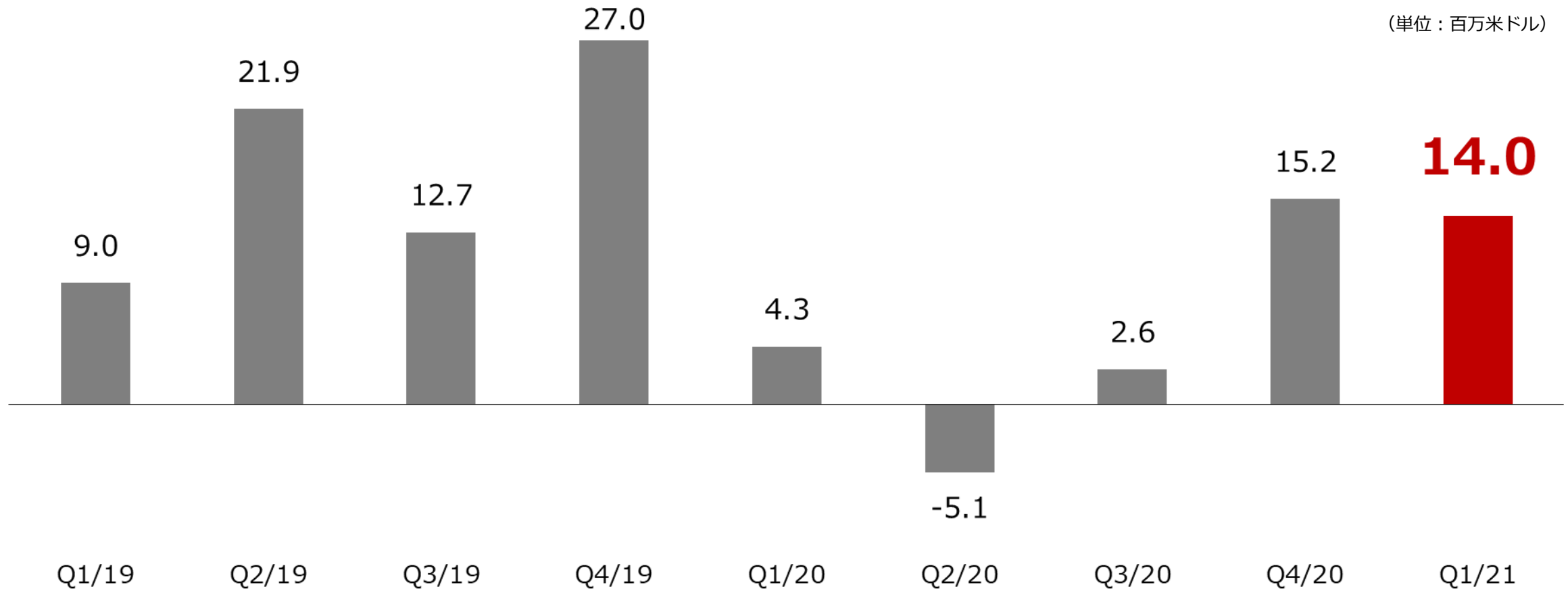


Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額*



* 精緻な集計の結果、2020年の流通総額を前回の開示から変更しています。

Rakuten Rewards (Ebates) 営業利益推移^{*1*2}

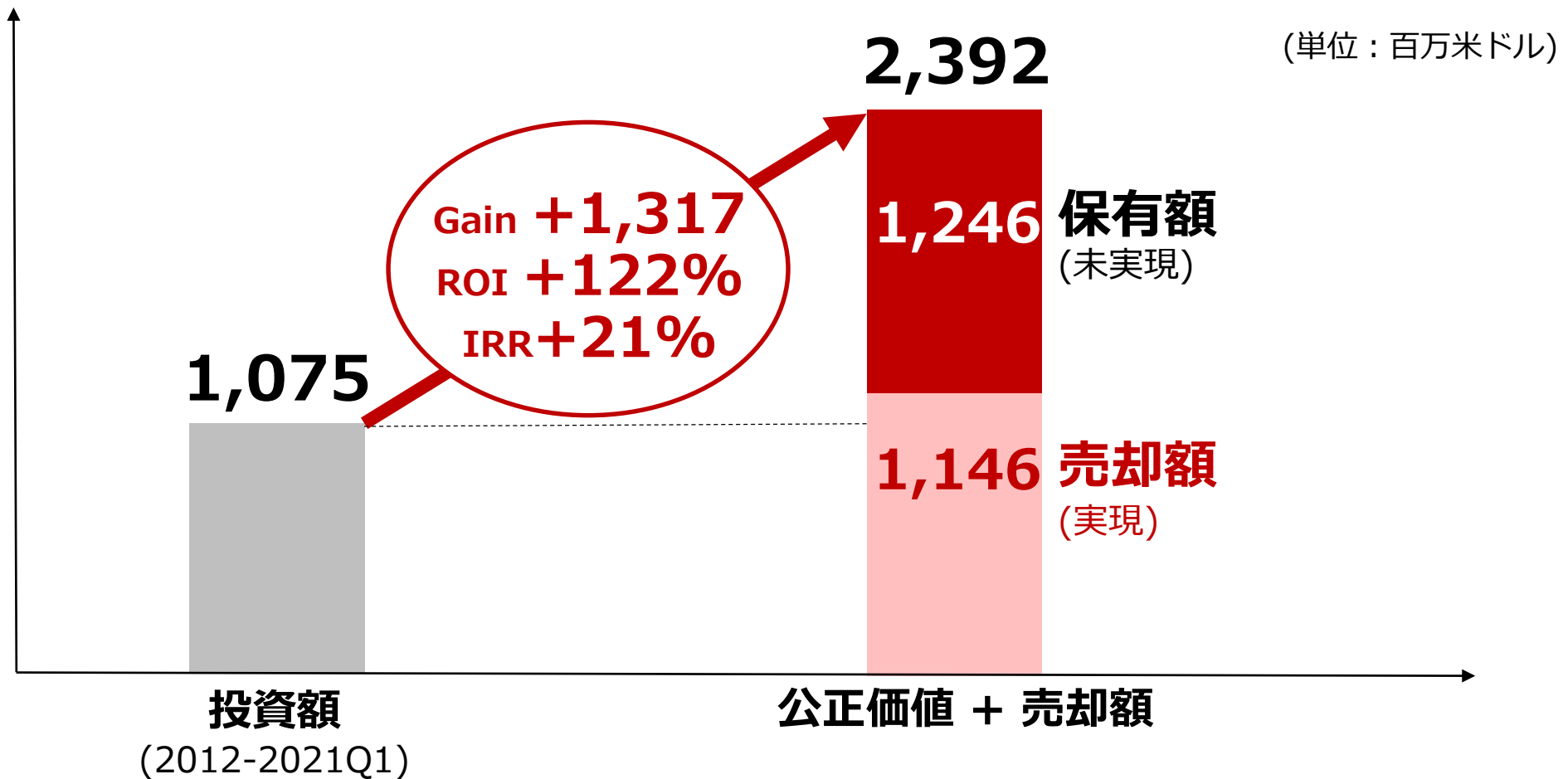


^{*1} リブランディング費用36.3百万米ドル(Q1/19)、30.4百万米ドル(Q2/19)、20.4百万米ドル(Q3/19)、27.4百万米ドル(Q4/19)、5.2百万米ドル(Q1/20)、5.1百万米ドル(Q2/20)、6.3百万米ドル(Q3/20)及び2.5百万米ドル(Q4/20)を除く

^{*2} 社内における配賦費用の付け替え等に伴い営業利益を変更しており、過去の営業利益も遡及修正済み

Rakuten Capital^{*1} 投資パフォーマンス

Rakuten Capital 投資パフォーマンス (21年3月末時点)^{*2}



^{*1} 楽天グループ 投資事業 (Rakuten Capital)

^{*2} インキュベーションビジネスへ移管されたLyftと楽天メディカル及びその他 Rakuten Capital以外のマイノリティー投資を除く

マイノリティー投資ポートフォリオ

インターネット

SHOPBACK

 carousell


from scratch

fever

epic!

 OneSignal

フィンテック

 BlueVine

 Upstart

TORANOTEC

ライドシェア

Careem

Glovo?

lyft

 gojek

 cabify

ヘルスケア

 airweave

Rakuten Medical
(関連会社)


overture

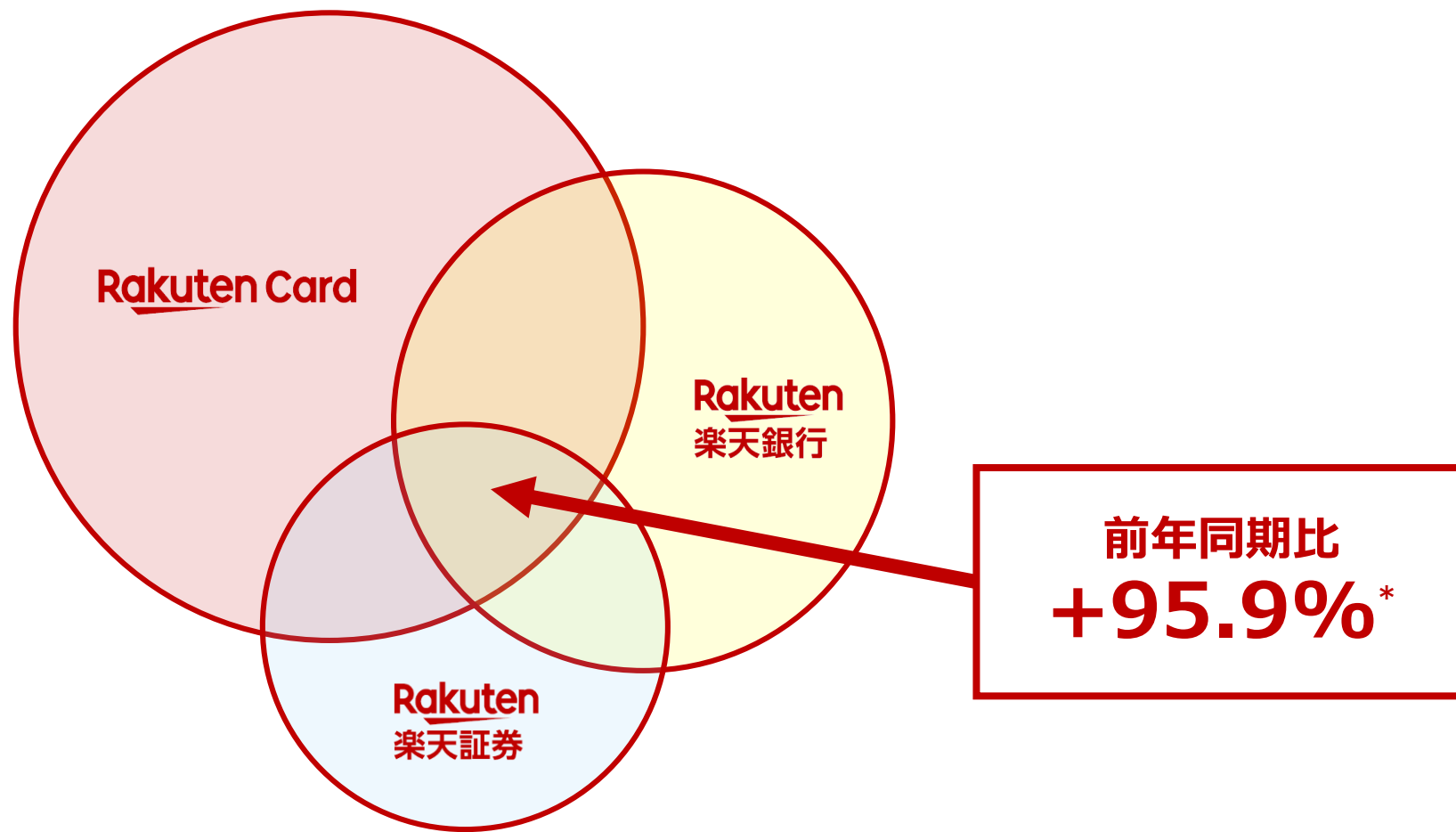
Genesis Healthcare

フィンテックセグメント

フィンテック事業間のクロスユース事例

■ フィンテックサービス間のクロスユースは飛躍的に拡大

(ユニークユーザー数)



* 2021年3月時点

* Q3/20よりクロスユースの集計方法を変更

Q1/21 フィンテックセグメント業績サマリー

(単位：十億円)

	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	66.7	+5.4%	11.0	+12.5%
楽天銀行	25.7	+9.3%	7.3	+6.9%
保険事業	25.3	-0.6%	1.9	+114.1%
楽天ペイメント	8.8	+1.7%	-1.2	+7.5億円
その他	1.4	+2.0%	-0.8	-6.7億円
フィンテック 合計（楽天証券除く）	127.8	+4.6%	18.2	+18.2%
楽天証券	23.8	+33.2%	6.3	+43.5%
フィンテック 合計	151.6	+8.2%	24.5	+23.8%

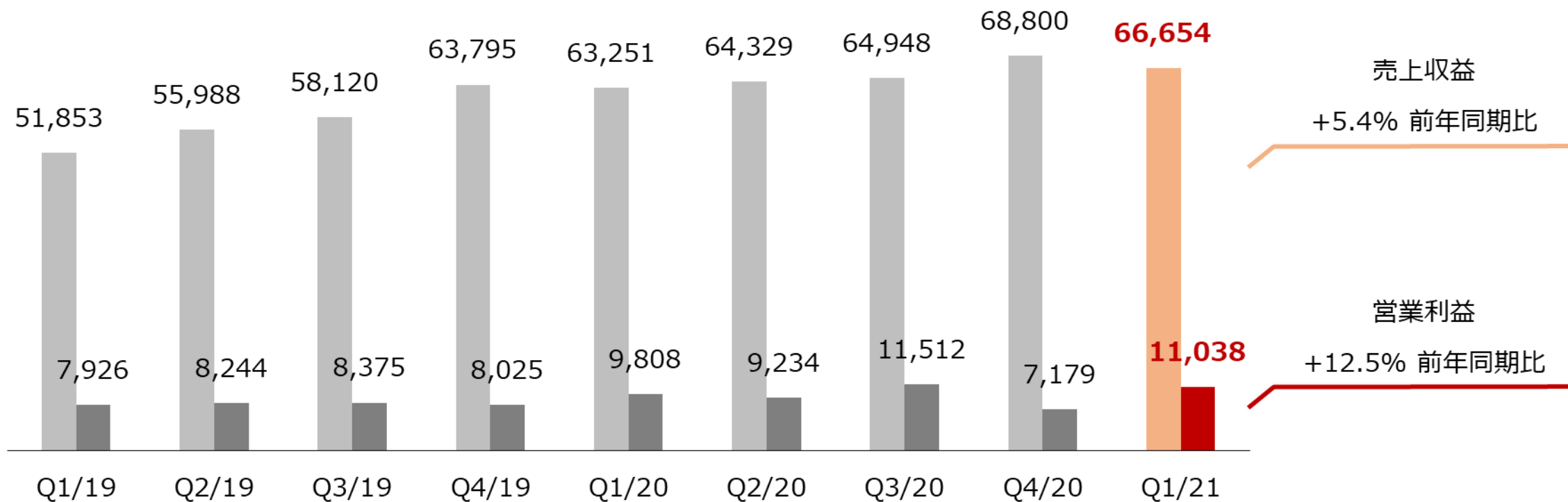
* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

* 楽天銀行：Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

楽天カード 四半期業績推移

■ オンラインシフトに対応すべくマーケティング費が増える中でも、増収増益を達成

(単位：百万円)

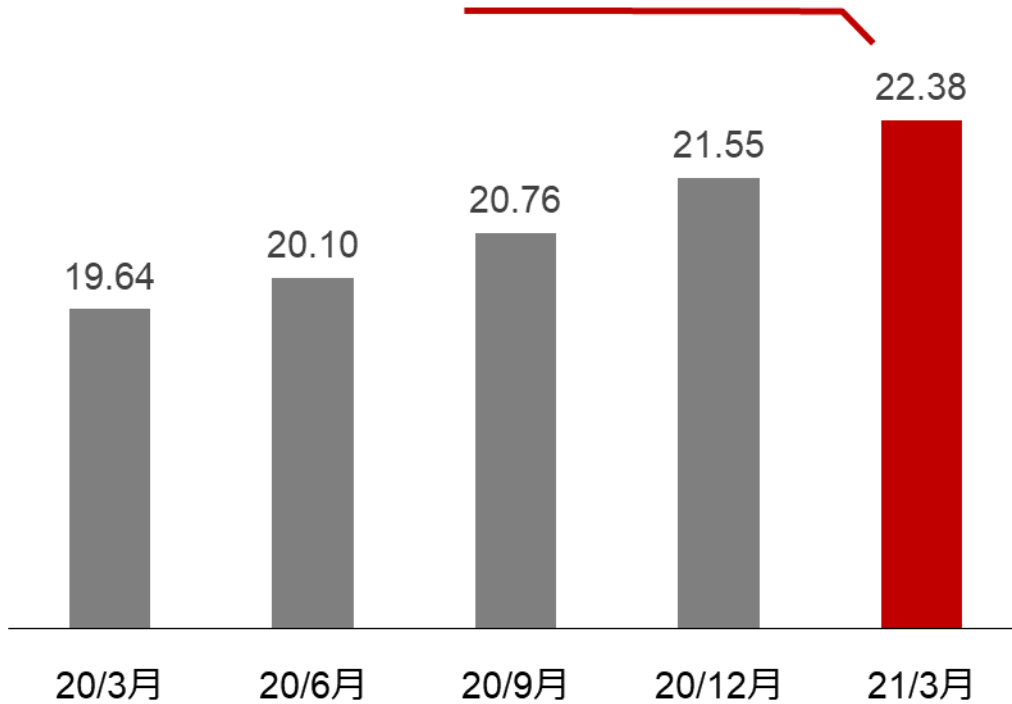


楽天カード 経営指標* (1)

カード会員数

(単位：百万人)

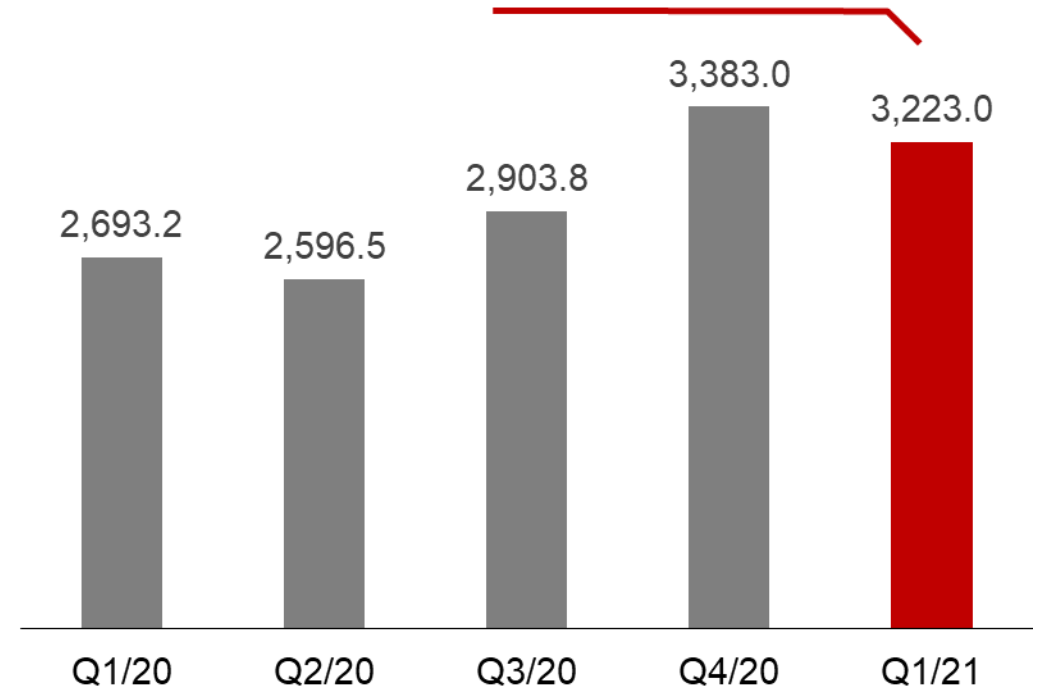
+13.5% 前年同期比



ショッピング取扱高

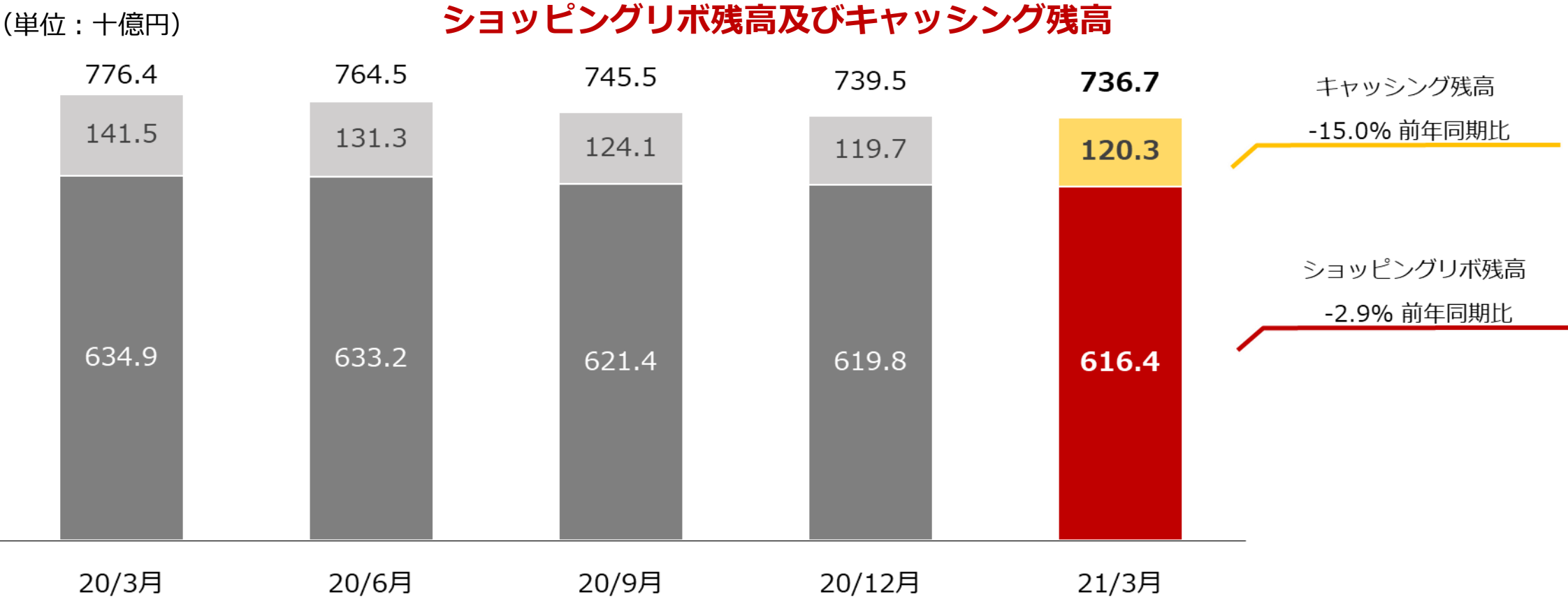
(単位：十億円)

+19.7% 前年同期比



* 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

楽天カード 経営指標* (2)



* 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。リボ残高は元本ベース

楽天カード 貸倒関連比率

(単位：百万円)

	Q1/20	Q2/20	Q3/20	Q4/20	Q1/21	前年同期比
貸倒関連費用	9,842	11,809	8,950	11,789	8,383	-14.8%
貸倒関連費用比率 ^{*1}	1.77%	2.15%	1.63%	2.03%	1.40%	－

	Q1/20	Q2/20	Q3/20	Q4/20	Q1/21	前年同期比
楽天カード	1,802,438	1,831,263	1,839,869	2,097,002	2,010,882	+11.6%
ステージ1（正常）	1,717,959	1,741,588	1,750,887	2,008,991	1,919,540	+11.7%
ステージ2（未収1～2ヶ月）	13,451	11,745	11,633	12,414	13,554	+0.8%
ステージ3（未収3ヶ月以上／貸出条件緩和債権）	71,027	77,930	77,349	75,597	77,788	+9.5%
楽天銀行保証	385,680	371,907	359,857	347,727	337,924	-12.4%
ステージ1（正常／信用保証債務残高 ^{*2} ）	347,551	333,715	323,023	312,551	303,559	-12.7%
ステージ2（遅延30日以上／信用保証債務残高 ^{*2} ）	135	83	127	114	49	-63.5%
ステージ3（求償債権）	37,994	38,109	36,707	35,062	34,315	-9.7%
その他	1,010	963	934	902	866	-14.2%
債権残高・保証残高 合計	2,189,128	2,204,133	2,200,660	2,445,632	2,349,672	+7.3%
引当金残高^{*3}	95,109	99,504	96,898	94,890	94,047	-1.1%
貸倒償却額^{*4}	8,999	7,416	11,561	13,801	9,229	+2.6%

^{*1} 貸倒関連費用比率 = 貸倒関連費用 ÷ 債権残高・保証残高合計の期首期末平均 × 4

^{*2} 楽天銀行における楽天銀行スーパーローン残高のうち、楽天カードが信用保証する残高

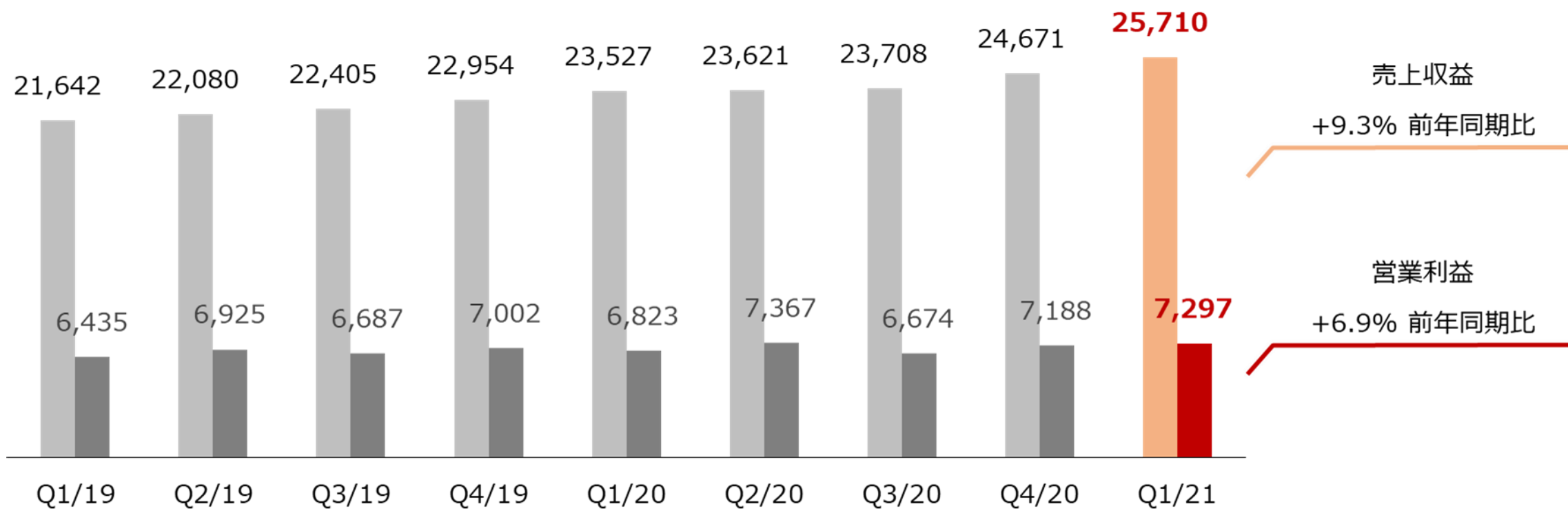
^{*3} 債務保証損失引当額を含む

^{*4} 貸倒償却には債権譲渡損を含む

楽天銀行 四半期業績推移

- マイナス金利政策、新型コロナウイルスの影響等で多くの銀行の収益が低迷する中、決済を中心に役務収益を大きく伸ばし、増収増益を確保。

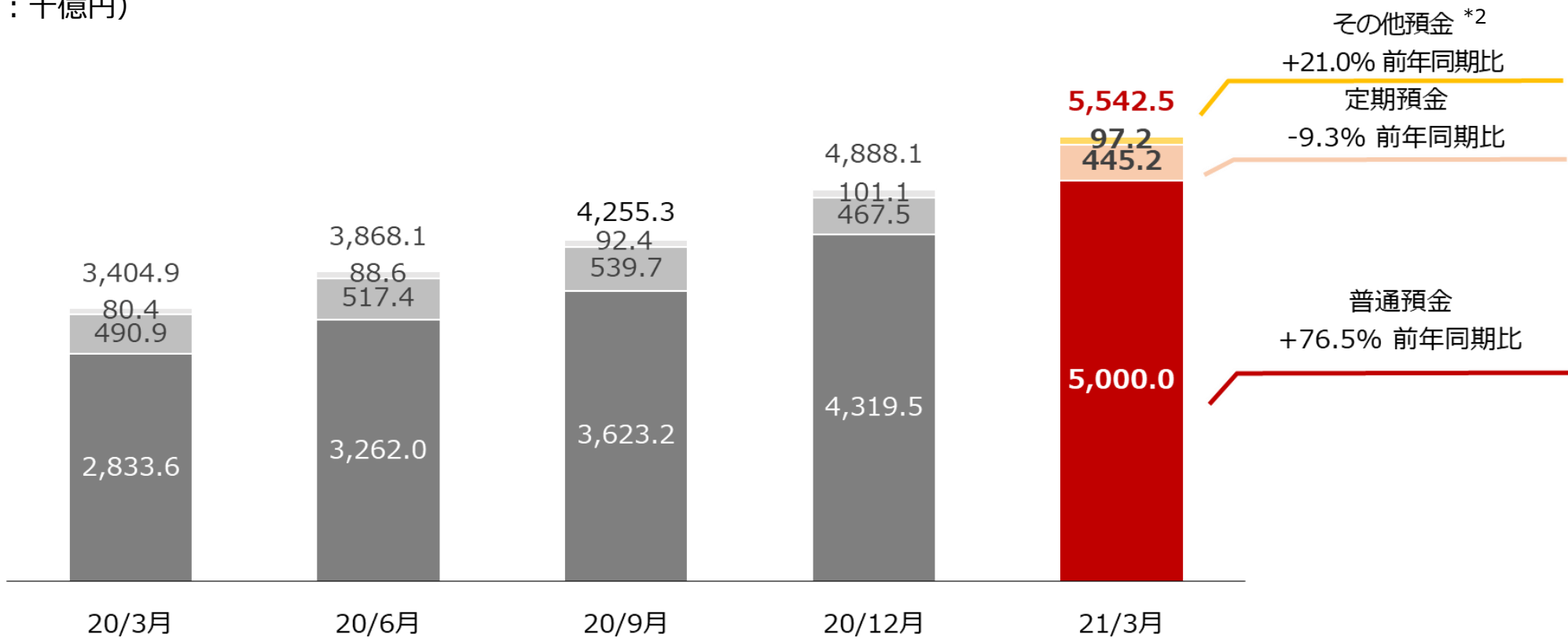
(単位：百万円)



* Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

楽天銀行 預金残高推移^{*1}

(単位：十億円)

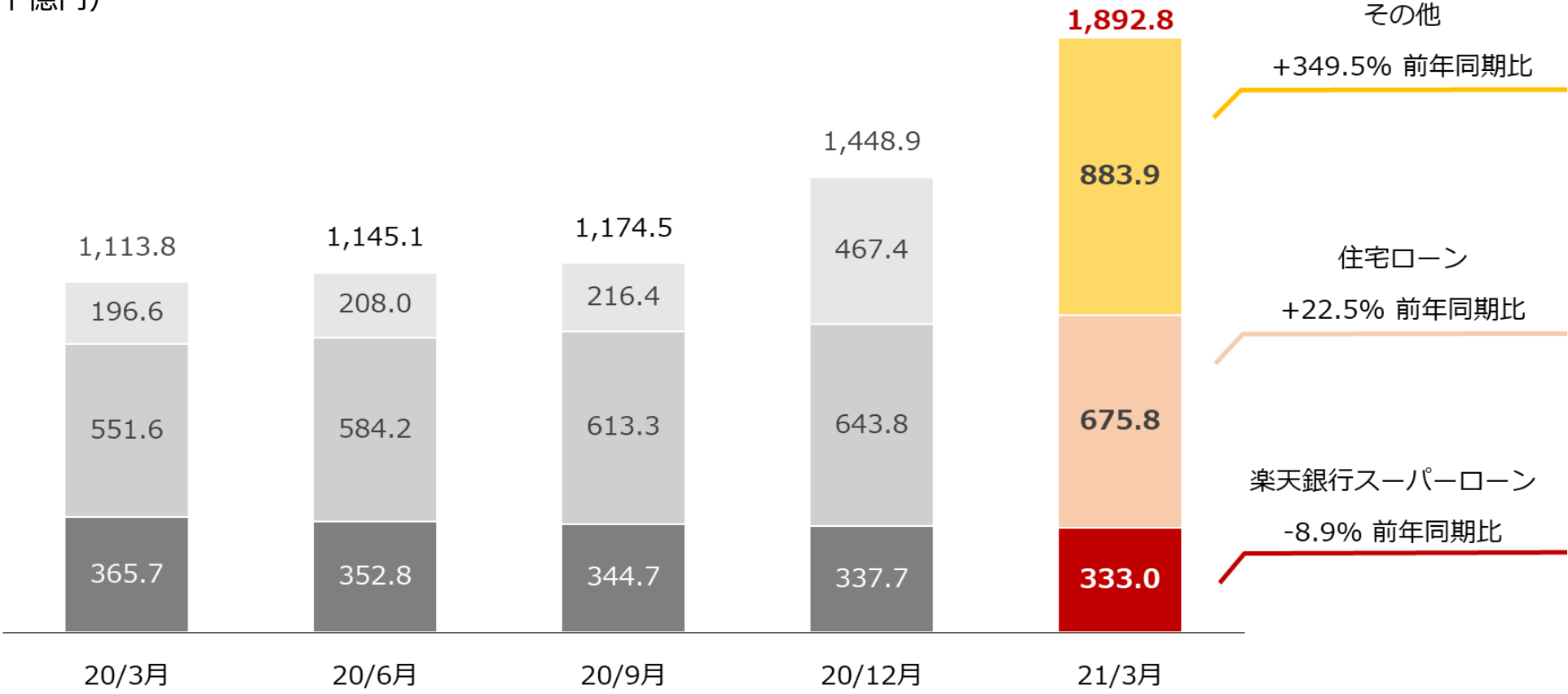


^{*1} 預金残高はIFRSベース（定期預金は、特約定期預金のデリバティブを含む）。楽天銀行連結ベース

^{*2} その他預金には別段預金その他、外貨預金等を含む

楽天銀行 貸出金残高推移

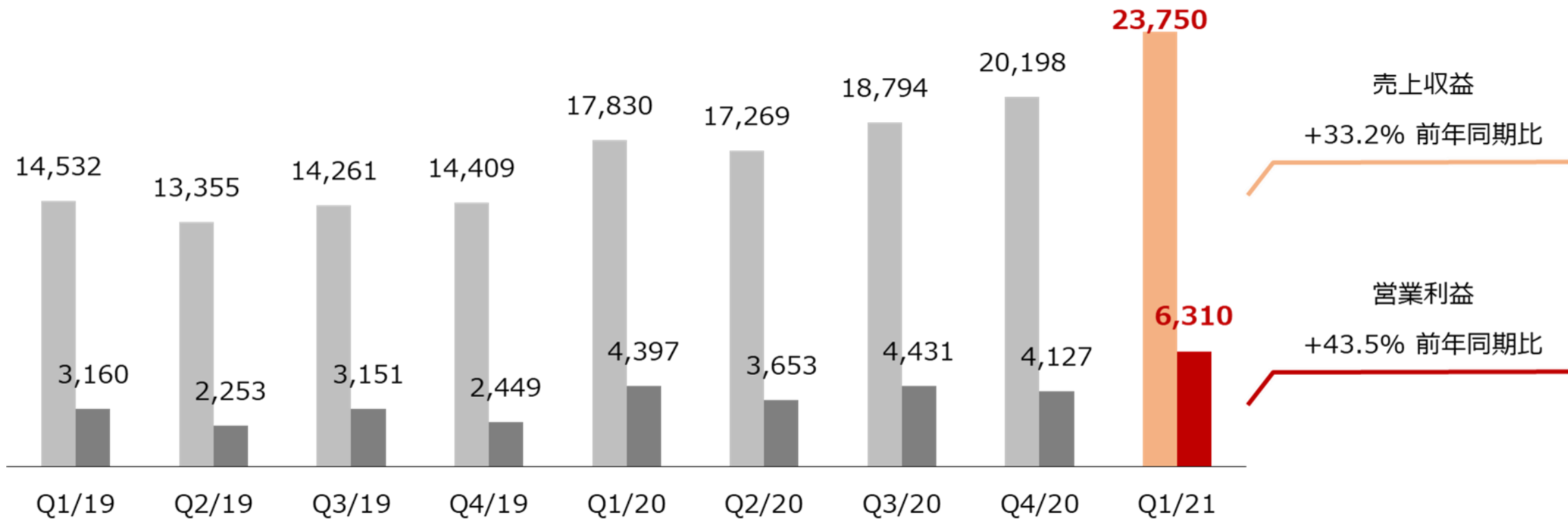
(単位：十億円)



楽天証券 四半期業績推移

- 国内株式及び米国株式の取引量増加により、売上収益は前年同期比+33.2%、営業利益は前年同期比+43.5%を達成

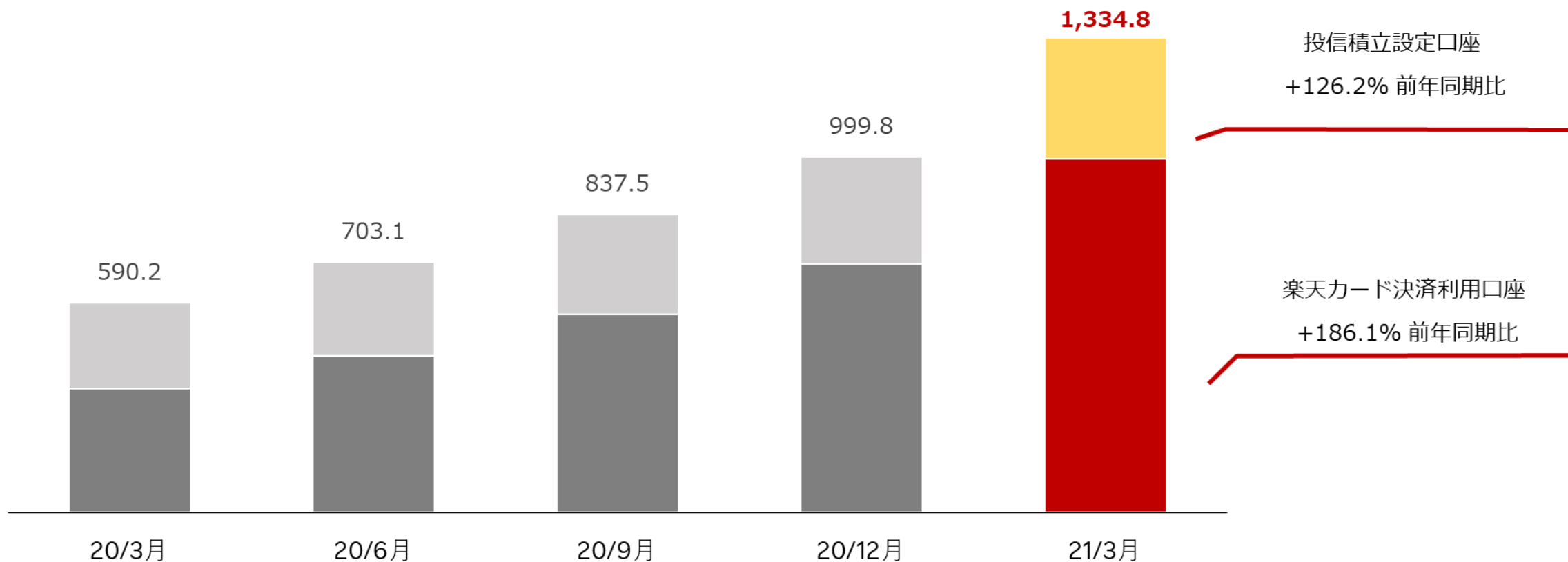
(単位：百万円)



楽天証券 投信積立口座数の増加

- 投信積立の「楽天カード」クレジットカード決済でのポイント付与やポイント投資等の施策により、投信積立設定口座数、楽天カード決済利用口座が増加

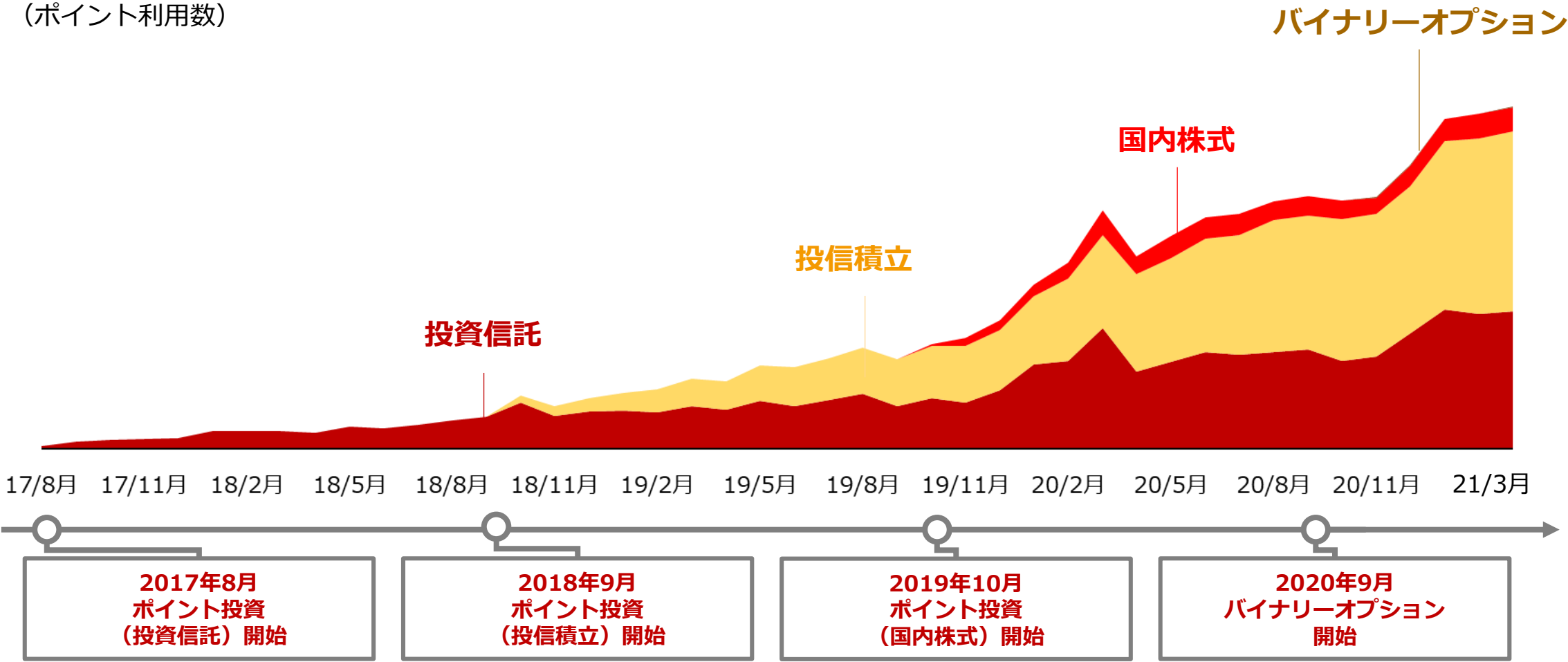
(単位：千口座)



楽天証券 ポイント投資

■ ポイント投資でのポイント利用数は堅調に増加

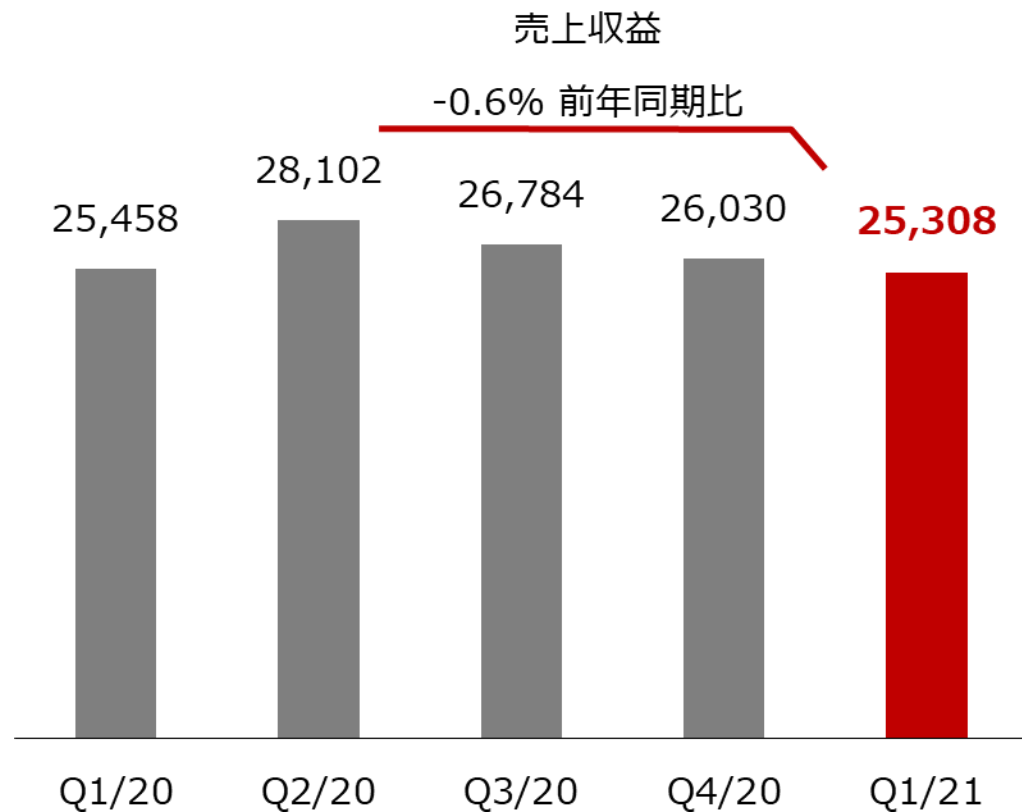
(ポイント利用数)



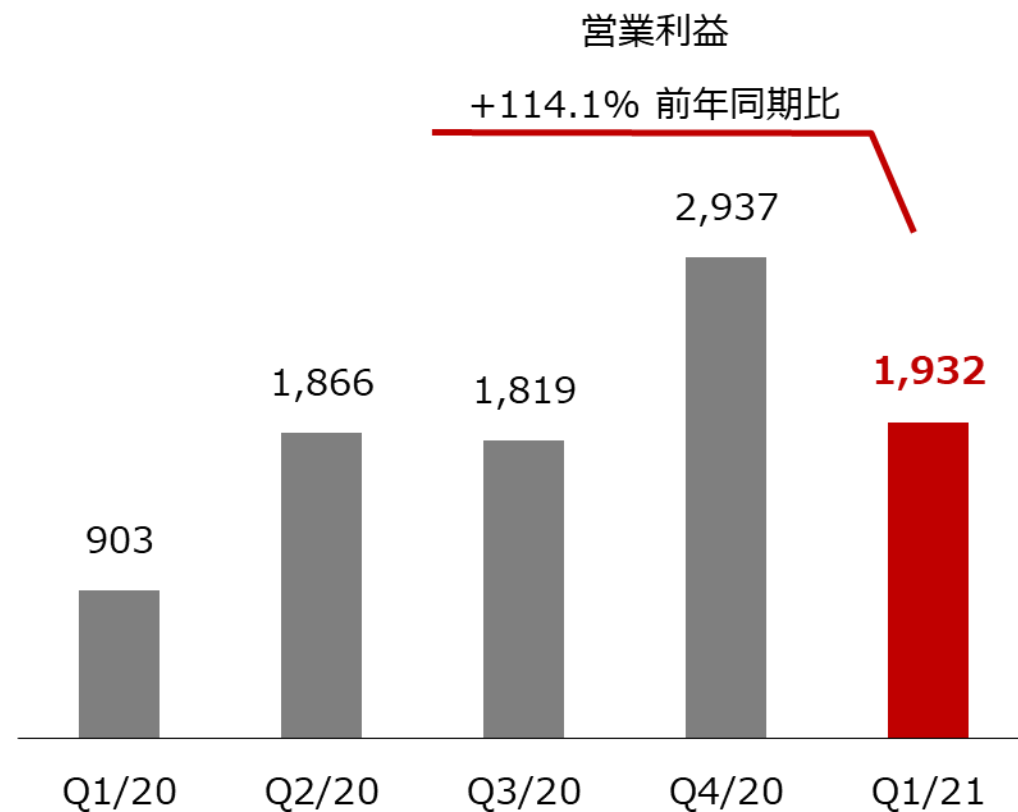
保険事業 業績推移

- 売上収益は生保・少額短期の順調な伸びの一方、損保は収益改善のための契約厳選化で前年同期比微減。
- 営業利益は保険引受利益改善やコスト削減により前年同期比10億円増益。

(単位：百万円)



(単位：百万円)



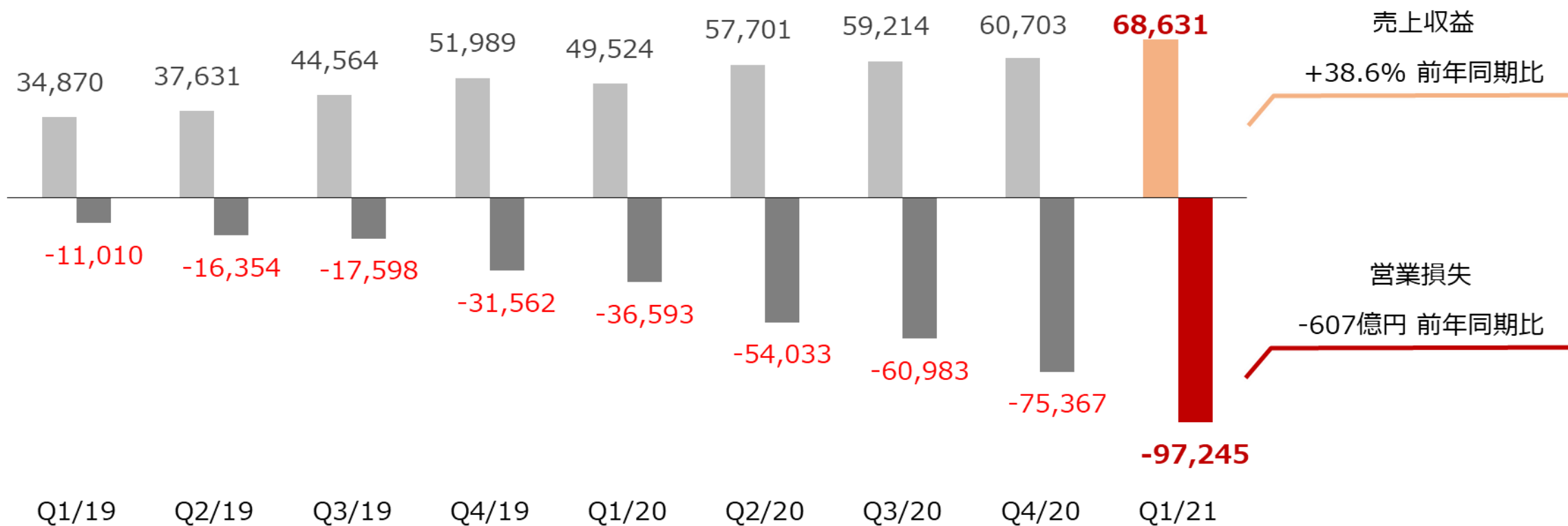
* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

モバイルセグメント

モバイル 四半期業績推移*

- 基地局建設の計画前倒しに伴い、基地局関連コストが増加

(単位：百万円)

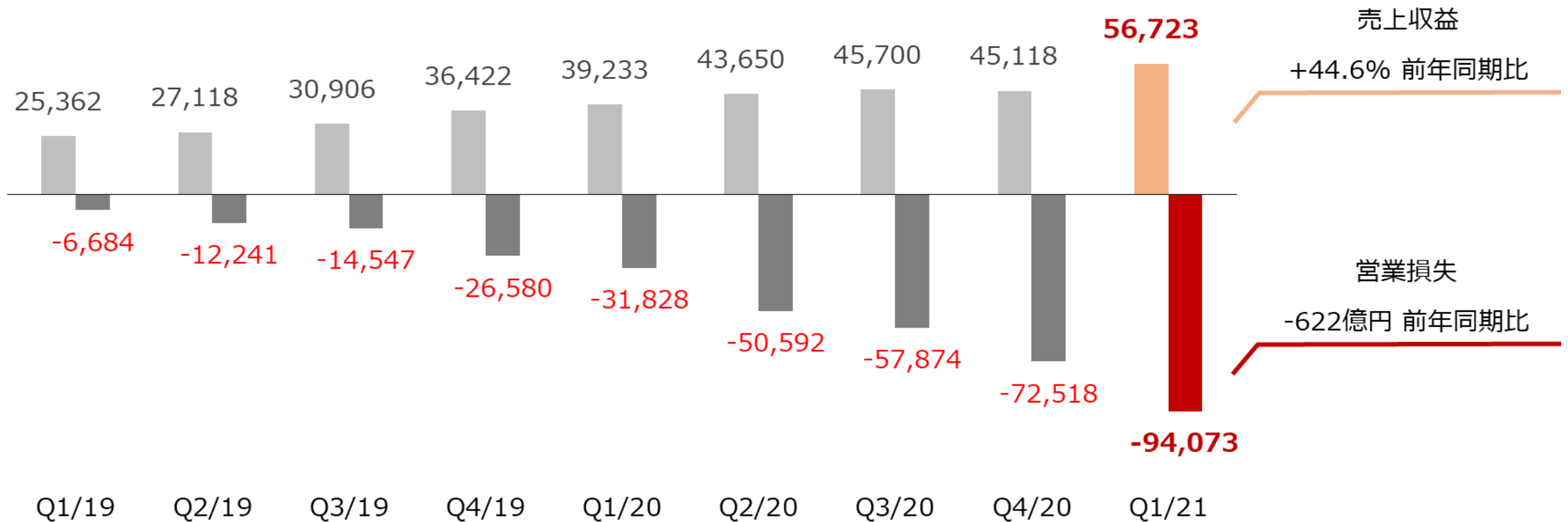


* モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、Rakuten Viber、エナジー事業、コンテンツ事業により構成

モバイル 四半期業績推移（旧モバイルセグメント*）

- 基地局建設の計画前倒しに伴い、基地局関連コストが増加

（単位：百万円）



* 旧モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、Rakuten Viber、エナジー事業により構成

モバイル 貸借対照表

(単位 : 百万円)

IFRS貸借対照表, Balance Sheet (IFRS)	Q1/21
資産, Assets	
有形固定資産, Fixed assets	485,176
無形資産, Intangible assets	60,305
その他の資産, Other assets	179,718
資産合計, Total Assets	725,198

負債及び資本, Liabilities and net assets	
借入金, Borrowings *	328,430
リース債務, Lease liabilities**	127,282
その他の負債, Other liabilities	165,432
負債合計, Total liabilities	621,144
資本合計, Total net assets	104,054
負債及び資本合計, Total liabilities and net assets	725,198

* 主にリースファイナンス及び親会社からの借り入れによる負債が計上されています

** リース債務には、IFRS16による賃借料等の将来に渡る見込債務が計上されています

電波発射済基地局数 : 17,564 契約締結済基地局数 : 18,313 (2021年3月末時点)

楽天モバイル 実店舗ネットワーク

■ 2021年4月時点店舗数 : 614

九州・沖縄エリア

福岡県 : 18店舗
佐賀県 : 3店舗
長崎県 : 6店舗
熊本県 : 6店舗
大分県 : 3店舗
宮崎県 : 3店舗
鹿児島県 : 4店舗
沖縄県 : 10店舗

合計 : 53店舗

四国エリア

徳島県 : 2店舗
香川県 : 3店舗
愛媛県 : 4店舗
高知県 : 1店舗

合計 : 10店舗

中国エリア

鳥取県 : 2店舗
島根県 : 2店舗
岡山県 : 7店舗
広島県 : 17店舗
山口県 : 7店舗

合計 : 35店舗

北陸/甲信越エリア

新潟県 : 13店舗
富山県 : 5店舗
石川県 : 4店舗
福井県 : 3店舗
山梨県 : 2店舗
長野県 : 9店舗

合計 : 36店舗

北海道/東北エリア

北海道 : 14店舗
青森県 : 4店舗
岩手県 : 3店舗
宮城県 : 13店舗
秋田県 : 3店舗
山形県 : 2店舗
福島県 : 6店舗

合計 : 45店舗

関東エリア

茨城県 : 9店舗
栃木県 : 4店舗
群馬県 : 8店舗
埼玉県 : 31店舗
千葉県 : 31店舗
東京都 : 95店舗
神奈川県 : 45店舗

合計 : 223店舗

東海エリア

岐阜県 : 9店舗
静岡県 : 14店舗
愛知県 : 46店舗
三重県 : 11店舗

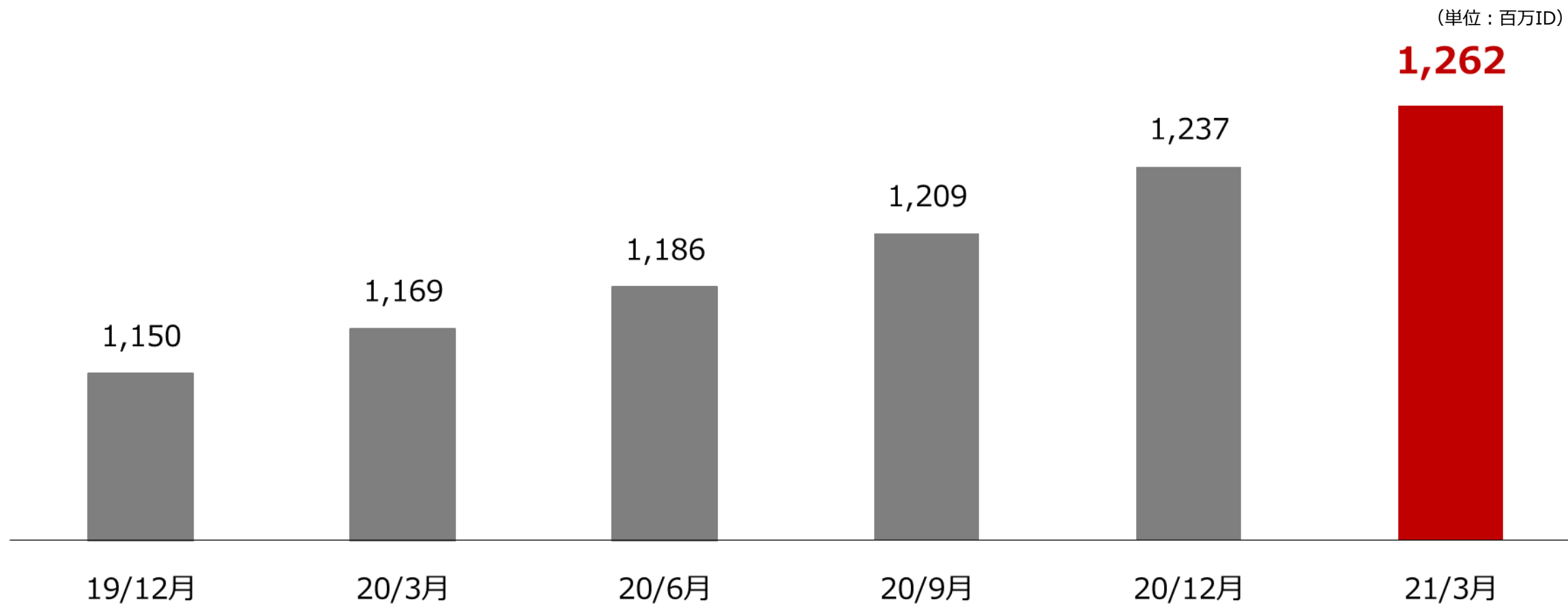
合計 : 80店舗

関西エリア

滋賀県 : 5店舗
京都府 : 14店舗
大阪府 : 62店舗
兵庫県 : 39店舗
奈良県 : 9店舗
和歌山県 : 3店舗

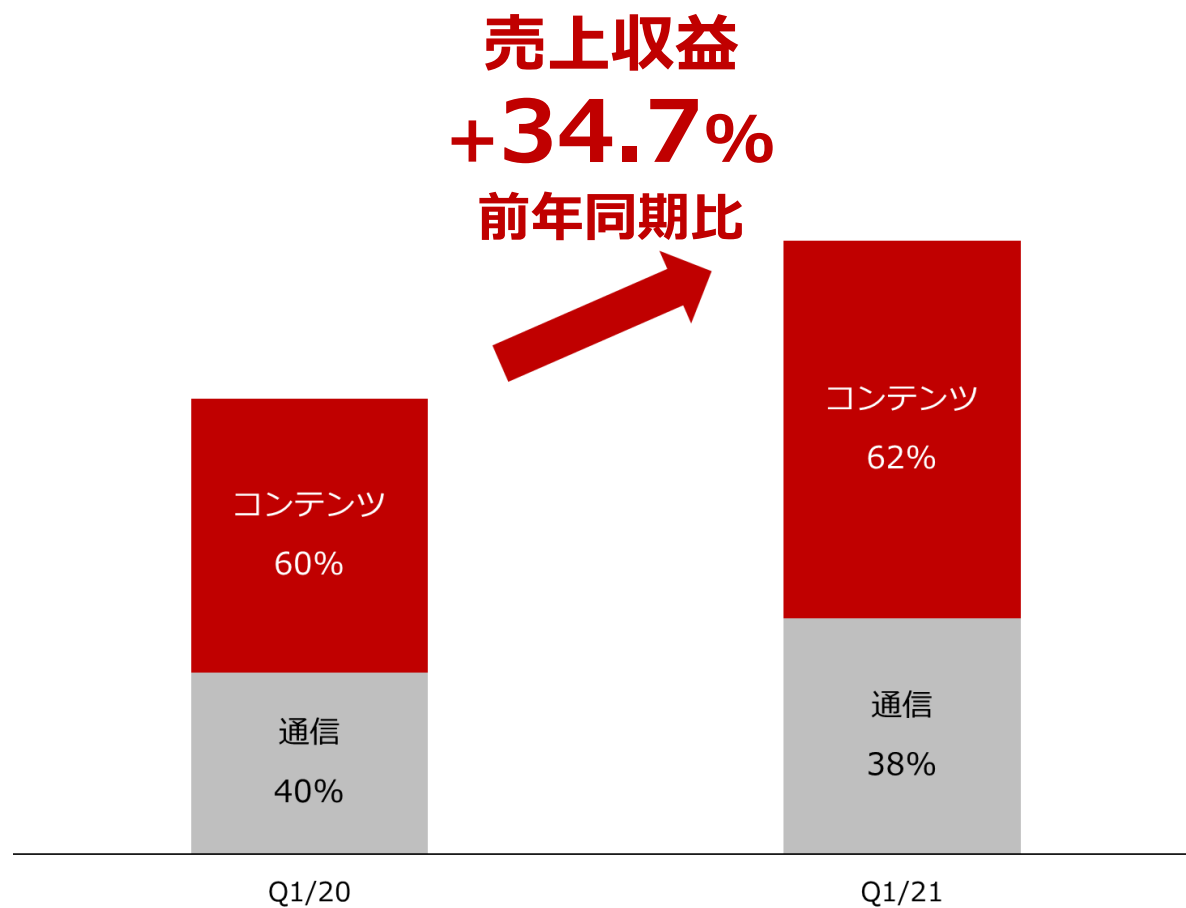
合計 : 132店舗

Viber ユニークID数*



*ユニーク携帯番号登録者数（解約者を除く）

Viber 売上収益*



* 通信: Viber Out, Viber In, SMS
コンテンツ: サービスメッセージ、広告、ステッカー等

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

Rakuten